

藤巻町自治会様 令和4年度名東区総合水防訓練について（報告）

1 目的

地域住民に対して水防の重要性と水防に関する基本的考え方の普及を図り、関係機関及び住民の協力のもとに総合的な訓練を実施し、水害の未然防止又は軽減に資すること及び出水期を前にした水防体制の強化を図る。

※重点テーマ：新ハザードマップ等を活用した防災知識の普及、啓発

2 日時

令和4年5月29日（日） 8：30～11：45 天候：晴れ

3 参加人数

約160人（うち、西山・名東学区住民41人）

4 訓練参加機関

西山・名東学区住民、西山・名東学区自主防災会、
名東区学区消防団、名古屋市立西山小学校、名東警察署、名東消防署、
名東土木事務所、名東環境事業所、上下水道局東部営業センター、
名東区社会福祉協議会、名東区災害ボランティアの会、名東区役所

5 訓練実施内容

(1) 住民参加型訓練 8：30～10：20

ア 実施場所 西山小学校

イ 実施内容

(ア) 住民避難訓練

(イ) 全体説明（災害時の備え、避難方法、新ハザードマップに関する啓発）

(ウ) 防災教室 ①災害用仮設トイレ設置訓練（環境事業所）

②コロナ禍における避難所運営について（区役所）

③地下式給水栓設置訓練（東部営業センター）

④コロナ禍における避難所での健康管理に関する講話
（保健センター）

⑤避難体験ワークショップ

（社会福祉協議会、災害ボランティアの会）

(2) 水防活動訓練 10：50～11：45

（参加人数：約100人（うち、西山・名東学区住民21人））

ア 実施場所 新池周辺（東大久手ひろば）

イ 実施内容

(ア) 簡易水防工法訓練の視察（消防署、消防団）

(イ) 新池周辺の視察（土木事務所）

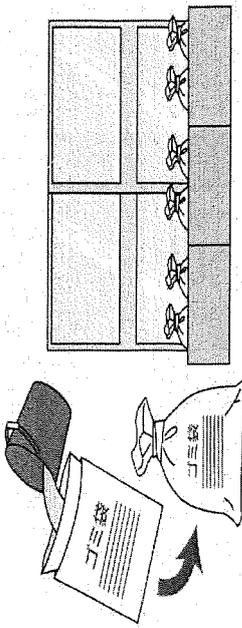
(ウ) 講評

簡易水防工法の例

次に記載する簡易水防工法は、あくまでも小規模な水害や水深の浅い初期の段階での対策です。危険を感じたら早めに避難してください。

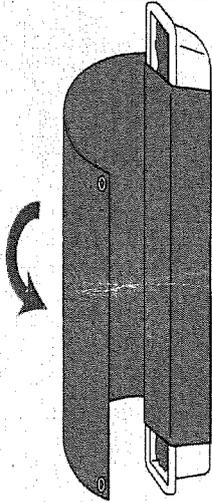
1 簡易水のうとダンボール箱による工法

40リットル程度の容量のごみ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉め、すき間なく並べる。ダンボールに入れて連結すれば強度が増し、中に詰める水のうも積み重ねて使用することもあります。



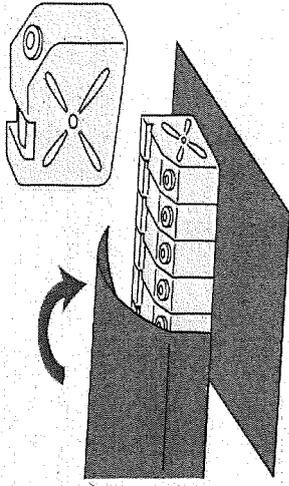
2 プランターとレジャーシートによる工法

土を入れたプランターを連結し、レジャーシートで巻き込み使用します。



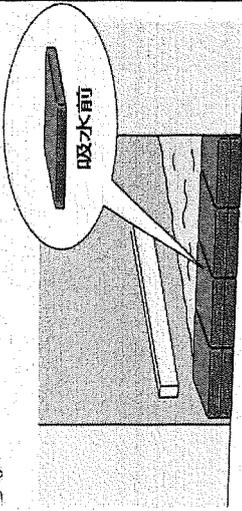
3 ポリタンクとレジャーシートによる工法

10リットル又は20リットルのポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み、連結して使用します。



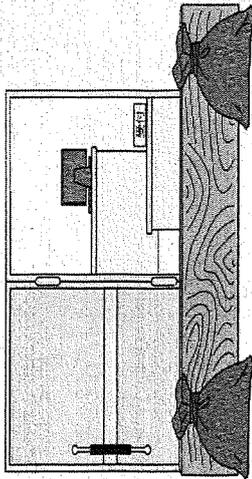
4 吸水性ゲル水のうによる工法

土のうの代替として使用できる市販の吸水性ゲル水のうで浸水を防ぐ方法です。吸水性ゲル水のうは、軽量、コンパクトですが、水を吸うと膨張します。



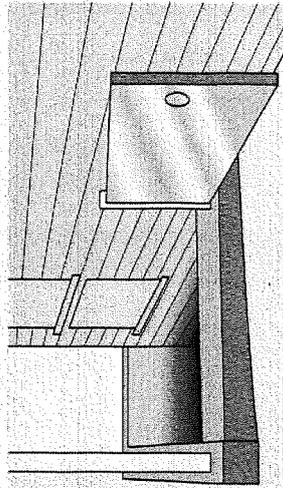
5 随時の止水板

出入口に厚めの板などを使用して浸水を防ぎます。



6 その他の工法

はしご、鉄板、身近にあるボード、テーパー、畳等を用いて水の流入を防ぎます。



可動式止水板を設置したビルの例

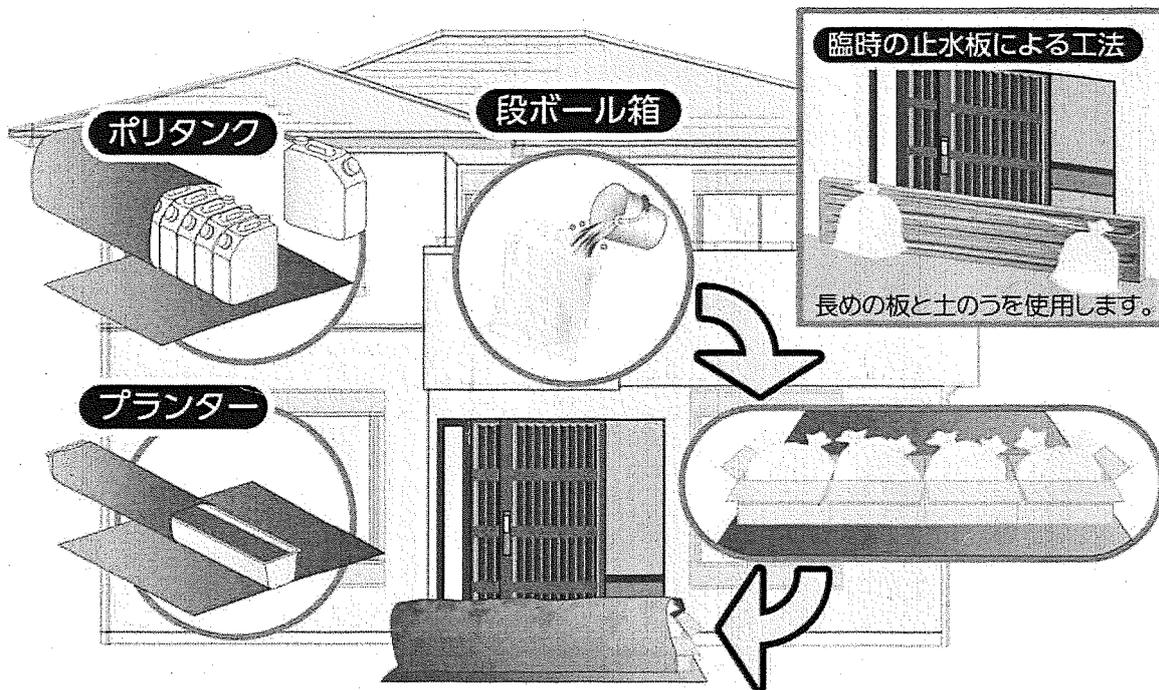
6.2 家庭で出来る水防(簡易水防工法)

簡易水防工法は、身近なものを使った簡易な水防工法でも浸水を防ぐことができます。ただし、これらは、あくまで小規模な水災で水深の浅い初期の段階で行うものです。

危険を感じる前に早めに避難しましょう。

(1) 簡易水のうと段ボール箱による工法

土のうや水のう(45リットル程度のゴミ袋を二重にして、中に半分程の水を入れたもの)をダンボール箱に入れて、レジャーシートで巻き込み使用します。



また、ダンボール箱の代わりに、プランターや10~20リットルポリタンクも使用できます。
※必要なものは、事前に準備しておきましょう。

(2) 意外な場所からの浸水防止

洪水時には、洗濯機やお風呂の排水口やトイレなど思わぬところから下水が逆流することがあります。排水口やトイレを水のうでふさぎましょう。

